

機部品セットのセット内容

Aセット

初心者の方/タテ糸ローラー巻きを利用する方は、迷わずAセット



タテ糸ローラー巻きを使って、簡単にタテ糸づくりをする場合のセットです。3セットの中でも必要最小限の部品数です。まずはこのセットで簡単にタテ糸づくりを済ませて、どんどん織りを楽しみ、機に慣れましょう。将来整経をする上でも、タテ糸ローラー巻きの使い方をマスターしておくことは、のちのち必ず役に立ちます。タテ糸ローラー巻きの経通しの手順は、テキスト『SAORIの技法①【基本編】』で詳しく紹介しています。

Bセット

城研三式整経をする方は、Bセット



タテ糸づくりが飛躍的に簡単になる「城研三式整経」をする場合のセットです。従来の整経方法とは異なり、①糸掛け、②巻き取り、③経通しの順番でタテ糸を創るので、どんな糸でもスムーズに効率的にタテ糸が完成します。手織適塾SAORIでは、この「城研三式整経」をスタンダードなタテ糸づくりの方法として採用しています。手順は、テキスト『SAORIの技法②【応用編】』で詳しく紹介しています。

Cセット

旧式整経をする方は、Cセット



「旧式整経」は、以下の手順で行う方法です。①整経台を使った「糸掛け」、②綾ホルダーと箆通し板を使った「箆通し」、③経通し棒を使った「綜統通し」、④手織機での「巻き取り」、⑤織り付け棒または布への「織り付け」。さをり織り発祥当時から、テキスト『わたしの手織りSAORI』に掲載されてきた整経方法で、現在も脈々と受け継がれている整経方法です。

従来の標準付属付き手織機とほぼ同じタイプは「Aセット」です。

※各セットの「箆」「綜統棒」「延長用紙管」「タテ糸押さえ棒」「タテ糸押さえ用カーペット」「溝付き織り付け棒」「タテ糸ローラー巻き」「分配箆」「織り付け棒」「機草」は、織り機の幅が異なる場合、併用することが出来ません。

※90用のタテ糸ローラー巻きは付属しておりません。別途ご購入頂き、通す必要がございます。また、機草は60用の機草を別途購入し、連結して自作していただく必要がございます。ご了承ください。

※各セット内容のものを、入れ替えたり抜いたりする場合は割引適用外になります。